必ずお読みください

新型コロナワクチン開発のあらゆる段階で妥協はありませんでした。

新型コロナワクチンの開発は、科学者、政府、民間企業の歴史上まれに見る協力によって実現しました。連邦政府は、特にパンデミックのような緊急事態に備えてワクチンの安全性を確保するために、2004年に緊急使用許可(Emergency Use Authorization)承認プロセスを設定しました。

重篤な副作用はほとんど発生しません。

ワクチンの副作用を追跡する米国のシステムは非常に高い安定性を持っています。すでに米国では何百万回もの予防接種が安全に実施されており、重篤な副作用が発生することは稀ですが、万一発生した場合には、適時報告されることになっています。

ワクチンを接種しないと新型コロナウイルス感染症が重症化する可能性が高まります。

ワクチンがあなたのDNAを変化させてしまうことはありません。

新型コロナワクチンは、あなたのDNAを変化させたり、影響を与えたりすることは絶対にありません。Pfizer、Moderna、Johnson & Johnson製ワクチンは、新型コロナウイルス感染症の原因となるウイルスを防御するメカニズムを造り出すよう細胞に指示を与えます。しかしワクチンは、DNAが格納されている細胞核に決して侵入することはありません。ワクチンがこうした指示を出してから、ワクチンの成分は体外に排出されます。

さあ**ワクチンを接種しましょう!**

新型コロナワクチン接種はハワイのさまざまな場所で受けることができます。ワクチン接種会場に関する情報は以下で提供しています。

ホームページ **HawaiiCOVID19.com/Vaccine**

電話 **(808) 586-8332**
フリーダイヤル **(833) 711-0645**
通訳サービスあり

情報提供:米国疾病管理予防センター、米国食品医薬品局、ハワイ州保健局

#HIGOTVACCINATED

新型コロナワクチン
あなたとあなたの家族を守る

ワクチンは、病気からあなたを守る盾のようなものです。

ワクチンは免疫システムに作用し、新型コロナウイルスに接触した際に、あなたの身体がウイルスと戦えるように準備します。

ワクチンは、新型コロナウイルスに接触したときに感染する可能性を低下させるばかりでなく、万一、感染してしまっても重症化や死亡のリスクを低下させます。

新型コロナワクチンは、米国食品医薬品局（FDA）から緊急使用許可(Emergency Use Authorization)を受けています。これらのワクチンは、独立した科学者や医療専門家らによって評価、承認されています。

現在、投与されているワクチンはすべて共通のプロセスと安全性テストを通過しており、従来のワクチンと同様の安全基準を満たしています。承認済みワクチンはすべてが様々なバックグラウンドを持つ数万人もの成人で検証されており、米国ではすでに何億回ものワクチン接種が安全上の問題なく行われています。

現在、米国ではPfizer-BioNTech、Moderna、Johnson & Johnsonによる3種類の新型コロナワクチンが利用できます。製薬会社により、ワクチンは少しずつ異なりますが、いずれも安全で優れた効果があります。

Pfizer-BioNTechとModerna製ワクチンは、現在2回接種する必要があります。Johnson & Johnson製ワクチンは1回接種します。

ワクチン接種を受けられるのは誰ですか?

Pfizer-BioNTech製ワクチンは、現在12歳以上の方に承認されています。ModernaとJohnson & Johnson製ワクチンは、現在18歳以上の方に承認されています。現在、これらのワクチンは、より若い年齢層への使用が研究されています。未成年者がワクチンを接種するには、保護者または後見人いずれか1名の同意が必要です。

妊娠中または授乳中の方でも、ワクチンを接種することができます。新型コロナワクチンの接種が、妊娠状態に悪影響を与えるという証拠はありません。

また新型コロナワクチンを含むあらゆるワクチンの副作用として、女性または男性の生殖能力に問題が生じるという証拠もありません。

「私は自分の役目を果たしました。あなたもご自分の役目を果たしてください。今すぐ、ワクチン接種を受けましょう!」

Rachel Kane
オアフ島在住

知っておくべきこと

ワクチン接種前

新型コロナワクチンは無料です。健康保険に加入していなくても接種できます。

健康保険証があれば、お持ちください。ただし、必須ではなく、健康保険に未加入でも費用負担はありません。

社会保障番号や政府が発行した身分証明書は必要ありません。

ワクチン接種時

会場では、予診票に記入していただきます。

また、ワクチン接種を記録したカードを受け取ります。このカードはあなたの接種記録として必ず保管してください。

アレルギー反応を確認するため、15〜30分ほどその場で待機していただきます。アレルギー反応は非常にまれです。

ワクチン接種後

ワクチン接種後に副作用が生じることがあります。一般的な副作用は、ワクチン接種後72時間以内に発生する腕の痛み、発熱、疲労感などです。

一般的に、こうした副作用はワクチンが免疫反応を生じていることを意味します。

最後の接種を受けてから14日後に完全な免疫が得られたと見なされます。現在、科学者たちはこの免疫がどのくらいの期間持続するのかを研究しています。